

## グローバル・カフェ×留学生センター共催 「ベトナム・マレーシアイベント」を開催しました

2026年6月17日(水)、留学生センターとの共催で「ベトナム・マレーシアイベント」を開催しました。さぬきプログラムに参加しているベトナム出身のマイさんとマレーシア出身のチュイーさんから、自国の紹介をしていただきました。さぬきプログラムに参加する留学生を含む学生17名、教職員8名の計25名が参加しました。

最初にマレーシアのチュイーさんから発表がありました。

マレーシアは人種のるつぼといわれ、マレー人、中国人、インド人をはじめとするさまざまな民族が調和を保ちながら暮らしています。公用語はマレー語ですが、英語も広く使われています。

このような多民族国家であることから、マレー人の祝祭である断食明け大祭をはじめ、中国の旧正月やインドの祭り、各民族の収穫祭など、さまざまな伝統行事が行われています。

また、食文化も多様で、各民族の影響を受けた料理やスパイスを使った料理が数多くあります。さらに、世界で最も強烈なおいを持つ果物として知られるドリアンも紹介されました。



次にベトナムから来日しているマイさんから発表がありました。

ベトナムでは、政府が公認する「モン族 (H'mon)」「クメール族 (Khmer)」「タイ族 (Tay)」など54の民族が、それぞれ独自の言語や伝統文化を受け継いでいます。

また、ベトナムの国花であるハス（ロータス）や約2,000年前から祭りや儀式で使われてきた「ドンソン太鼓 (Dong Son)」についても紹介されました。民族衣装のアオザイは、地域や民族によって異なる特色があることが分かりました。

食文化では、バインミーやフォーのほか、ドラゴンフルーツなどの果物が豊富であることが紹介されました。

最後の質問コーナーでは、ざっくばらんな雰囲気の中で活発な質疑応答が行われ、参加者が各国に強い興味を持っていることが感じられました。

